

第2回わくわく地方生活実現会議発言資料
(俵万智)



伝統、神話刺激受け創作

週刊少年マガジン（講談社）で連載された人気医療漫画「ゴッドハンド輝」などの代表作を持つ漫画家山本航暉さん（51）が、昨夏から宮崎市に活動拠点を移し、次の連載に向けた準備を進めている。山本さん自身が講師となって、厳しい



山本航暉さん

プロの世界で培った技術を伝える漫画教室も同市で定期的に行っており、「宮崎の伝統や文化にインスピレーションが刺激されている。神話や宮崎を舞台にした作品も発表したい」と話している。

山本さんは新潟県上越市出身で、1988年に同誌でデビュー。父のよ

漫画「ゴッドハンド輝」作者 山本航暉さん

宮崎市に活動拠点

うな天才外科医を目指しな絵柄と熱いストーリーで主人公・真東輝が奮闘する代表作「ゴッドハンド輝」（原作協力、構成監修：天崎堯爾）は、2001年から約10年間連載し、09年にはドラマ化もされた人気作。爽やかなだが、激務の週刊連載

線で活躍してきた山本さんだが、激務の週刊連載



代表作「ゴッドハンド輝」1巻表紙



漫画「ゴッドハンド輝」の一場面©山本航暉／講談社

新連載へ着々、教室も

で体調を崩したことも。仕事が一段落したことから、心身共に休まる自然豊かな環境と「創作に必要なインプット」（山本さん）を求め、14年7月、知人で宮崎太陽銀行などの外部アドバイザーを務める人材育成コンサルタント北山邦子さん（50）川宮崎市IIの出身地である鹿児島県志布志市に移住した。

原画展を開くなど同市でも活動した後、山本さんは今後の新連載準備を考え、出版社のある東京へアクセスが良い地域への移動を検討。そこで北山さんを訪ねた際に「のんびりした街の雰囲気」が気に入ったことから、宮崎市を新たな拠点に決めたという。

山本さんは現在、今年夏の連載スタートを目標にした次回作の準備を進めながら、地元で親しむと高千穂町やえびの市など県内各地を訪ねて伝統行事などを体験。また、本県から新たな漫画家の輩出を促して地方創生につなげたいと、昨年12月から効果的

なストーリー作りや作画など、漫画の技術を実践的に学べる教室を開設した。「宮崎で漫画を学べる場はまだ少ないので、プロとして読者の人気を獲得するための具体的な方法論を、次の世代に伝えられればうれしい」と山本さん。今後については「（漫画制作は）昔は地方で仕事することは難しかったが、今はデジタルで入稿できる時代。人々が温かく、心から深呼吸できる宮崎で創作していきたい」と意気込んでいる。

山本さんの漫画教室は毎月1回、宮崎市広島のカフェ「Bob Jordan」で開催。次回は26日午後3時から、「魅力的なキャラクターの動かし方」をテーマに開く。受講料は1回1万800円。最新情報はツイッター公式アカウント@valholl_enartで随時発信。参加申し込み、問い合わせはメールアドレス en-art@valholl.jp で受け付けている。

（大谷美穂子）

経済だけでない独自の指標でみると、宮崎の「ゆたかさ」は全国トップクラス。県は2日、独自に算出した「ゆたかさ指標」の最新版を明らかにした。指標の中でも客観的な総合値に位置付けられ、公的な統計データからはじき出す「ゆたかさ指数」は、最新データを反映させると前回公表の全国10位から、2位に上昇した。

総合値は「自然」「くらしの便」「時間」など

本県「ゆたかさ」全国2位

県独自指標 2017年版

7分野の計35要素を用

委員からは「子どもた

い、全国平均に対する本 県ゆたかさ指標は、本県 ちにとつて、宮崎に住む

県の偏差値を出すなどし の良さや課題を独自に表 ことへの自信、誇りにつ

て算出。最新の2017 そうと、15年度に策定に なる「県内外にアピ

年版は24要素を更新した 着手して17年2月に初め ルする必要がある」「負

結果、就業者1人当たり て取りまとめた。最新版 の部分もある。根拠をし

前回10位、「経済」など伸長

の県内総生産が上昇した は、民間の調査結果など っかり出さないと、上滑

「経済」、10万人当たり をベースに、宮崎らしさ りになる部分があるはず

の自殺死亡率が減少した を伝える指標の更新版も だ」とさまざまな意見が

「健康」、ワークライフ 含め、有識者らでつくる 出た。県担当者は「ゆた

バランス指数がアップし 県総合計画審議会と県地 かさを県民で考える材料

た「人を育む力」の3分 方創生推進懇話会の合同 としていきたい」と話し

野が伸長し、ランクアップ 会議で発表された。 ていた。(佐賀信行)